

医院だより 2024、9月号

特集、院長の夏休み



福井県立恐竜博物館

* 特定健診・後期高齢者健診は9月30日までです。まだご予約できます。

* 休診のお知らせ: 9月4日(水)午後・9月9日(月)終日(8日休日当番医の振替休診)

* <インフルエンザワクチン接種・新型コロナワクチン接種について>
上記のワクチン接種を今年度も当院で実施いたしますが、いつから、どのように実施するか詳細は9月中旬以降にお知らせできると思います。お待ちください。

特集 院長の夏休み ～福井県立恐竜博物館・福井年縞博物館～

<福井県立恐竜博物館>

お盆休みに福井県立恐竜博物館(上の写真)に行きました。夏休みとあって多くの家族連れで賑わっていました。本館中央にはおびただしい数の骨格標本があり、別館では、北アメリカ大陸のバッドランドと言われる岩石砂漠地帯で発見された数億年前の恐竜化石の特別展示もありました。

<福井県立年縞博物館>

三方五湖にある福井県立年縞博物館ねんこうはくぶつかんに行きました。こちらが今回の目的地です。少し遠いし、天気も暑くて曇っていましたが、途中、湖や日本海を望めました。

もともと、この場所は縄文遺跡の鳥浜貝塚とりはまかいづかで有名だそうです。この周囲の縄文遺跡

の調査で発見されたのですが、近くの水月湖(三方五湖のひとつ)の湖底の地層は約7万年間の湖底の堆積物が年輪の様に記録されています。季節によって明るい層と暗い層が交互に堆積されるので、年輪のような縞模様が、1年に1層形成されます。これを年縞(ねんこう)と言います。



年縞:左側の茶色の筒 年縞博物館 館内

今まで、日本の気候は安定して四季がありました。気候が安定していたのは、地球の歴史の中では最近で、氷河期が終わった1万6千年前からです。この様なことが推定できるのは過去の気候が分析できるからです。グリーンランド内部の氷床で気候変動を分析できますが、最近、福井県にある水月湖(三方五湖のひとつ)の湖底の地層は、さらに詳細な分析ができることがわかりました。この湖は、①川が直接流入することがなく、海にも直接繋がっていないので、急な土砂の堆積や波の影響がない。②深い湖底が低酸素状態で生物が棲めず、生物による地層の攪乱がない。③地盤が長期間ゆっくり沈降し堆積が継続した。などの条件が重なり、年縞から1年毎の気候を遡り、さらに地層に含まれる、花粉の化石、火山灰、まれに見つかる落ち葉の種類と、その炭素同位体分析から、最近7万年の詳細な地球の気候変化を推定できるようになりました。

気候が安定しないと狩猟・採集が主な食糧獲得の手段になり、計画的な農耕ができません。氷河期の終わり頃は、まだ海面は今より50メートル以上も下がっていたので海面下の古代の遺跡の発掘や分析が困難です。農耕の開始時期はまだ推定するしかありませんが、農耕による計画的な食料獲得ができて文明が発展したと思われれます。四大文明も気候が安定した1万年前からしばらく経った5000年前頃から発展したのでしょうか。急な古代文明の衰退も気候変動が原因だった場合があったようです。最近、気候変化も身近に感じますが、興味のある方は 講談社ブルーバックス「人類と気候の10万年史」、岩波科学ライブラリー「時を刻む湖」を読んで頂くと良いと思います。

[編集後記] 今月号は院長の夏休み特集をお届けしました。

皆さんの夏の思い出はいかがなものでか？

猛暑は、台風で少し収まり、夜の虫の音には秋の訪れを感じます。

しかし、今年の暑さは体に堪えました！どうぞご自愛くださいm(_)_m



唐沢内科小児科医院

松本市笹部 2-1-51

☎0263-25-7633